

群馬県中小企業団体事務局長会 栃木県視察研修



2月21日、群馬県中小企業団体事務局長会は、栃木県視察研修を実施し、15名が参加した。視察先は「芳賀・宇都宮LRT」及び「村田発條株式会社清原工場」。

・芳賀・宇都宮LRT

次世代の路面電車で、愛称は「ライトライン」。国内では75年振りに開業する路面電車で、既設路線の改築でない全線新設は日本初の取組み。開業半年で累計乗客者数は200万人を突破。

・村田発條株式会社清原工場

創業110年を超える老舗バネメーカー。トラックのエンジンで使用される「バルブスプリング」は、4t以上のトラックの国内シェア100%を誇る。

初めに、団体向けライトライン見学ツアーにて、事業概要や運行ルート、利用状況の説明を受けた。

宇都宮市は、ライトラインの導入により少子高齢化社会に対応する持続可能な新しい公共交通



熱心に耳を傾ける参加者

ネットワークの構築を目指している。ライトラインは路面電車の機能を高度化し、段差が少なく乗降の容易性や快適性に優れ、騒音や振動が少なく、再生エネルギーを活用することで環境負荷が低い特徴を持つ。

その後、JR宇都宮駅からライトラインに乗車し、走行中に吊革をつかまずとも立っている程の安定した乗り心地やゆったりとした座りやすいシートの広さを体験し、大きな車窓から見える変わりゆく街並みの風景を楽しみつつ、車両基地へ移動。車両基地ではライトラインを前にして車両スペック等の話を伺った。



全てのドアから交通系ICカードで乗降が可能

次いで、村田発條株式会社清原工場へ移動し、会社概要や製品の説明を受けた後、工場を見学。



バネのペン立て

同社は大正2年に創業し、昭和8年からバネの製造を始め、現在、月間で5,000種類ものバネを生産する。また、バネ生産のほか、一般消費者の認知度向上のため、バネをそのままペン立てにしたユニークな商品も企画・販売している。

工場内は、全社員へ浸透した5s活動によって安全で効率的な職場作りが徹底されており、参加者は高い技術力をもって高品質を保つ製造現場を肌で感じた。



5sが浸透している工場内